

行財政改革は進んだか？



西尾 寿博 議員

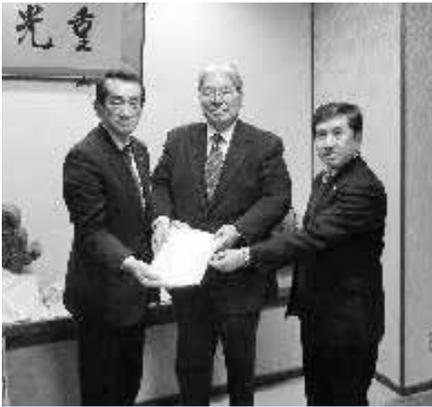
町長 継続的に進めている

【西尾】日本の借金が、国と地方自治体を合わせて1400兆円あるなか、本町では第4次行財政改革が審議されている。行財政改革とは、その時々で最も適切な事業を推進するために、すべての事業を見直し、整理することである。

現在進めている第3次改革プランでやらなければならぬことは何か。

【町長】大綱に基づいて、22ある取り組み事項を継続的に進めている。

【西尾】選択と集中が必要だが、何を実行し



平成25年答申の第3次行財政改革

たか。

【町長】4つのアクションとして、少子化・定住化対策、産業、健康対策、町民参画を進めている。

成果としては、太陽光発電施設の誘致など未利用財産の活用、カーンコーやカーブスの企業誘致、地域自主組織の組織化、職員数の適正化があげられる。

【西尾】第4次行財政改革の重要度は。

【町長】平成28年度から取り組み行財政改革の指針となるものである。

マイナンバー制度の 効果は？

町長

公平な社会が実現される

【西尾】10月から始まるマイナンバー制度とはどのような制度なのか。

【町長】すべての国民に12桁の番号がふられる制度である。

制度の導入によって、正確な所得の把握が可能となり、社会保障や税、給付と負担の公平性がはかられ、より公正・公平な社会が実現される。

また、税にかかる各種行政事務の効率化がはかられ、誤りや無駄をなくすことなども期待される。

【西尾】デメリットは。

【町長】国に個人情報をも何でも一元管理され

てしまうのではないかと

いう危惧と、個人情報の漏えいに対する不安要素があげられる。

【西尾】管理費用が年間1千万円程度かかるようだが、これは適正

価格か。

【町長】独自で適正価格かどうかを判断する人材を入れることは難しい。近隣の自治体と比較して判断していく。



全戸に配布されたリーフレット